

情報機器を活用した国語の学習

上柴西小学校

1 単元名 さまざまな調べ方で ～情報を発信する系列の単元～ 第4学年（国語科）

小単元名 「方言について調べて」

2 小単元の目標

- ・埼玉県（深谷市）と他地域の言葉（方言）に関心をもち、意欲的に方言を集めたり、その使い方に慣れ親しんだりすることができる。
- ・その地方でしか使われない方言は、地域の人々の生活と深く結びついており、その地方の人々の思いも表現できるぬくもりのある言葉であることを考えることができる。
- ・方言にふれることで、共通語と方言の特徴やよさを知ることができる。
- ・自分で調べた方言を、相手にわかりやすくまとめたり、発表したりすることができる。

3 情報機器活用の意図・情報教育の視点

本単元は、これからの情報化時代を主体的に生きる子供たちにとっての作文能力、つまり、多様な情報を収集・享受し、その情報を目的・相手に応じて選択・再構成する能力の育成を意図している。

情報活用作文教材「方言について調べて」は、方言について調べたことを、さまざまな方法で発信する国語科教材の総合作文教材である。

この方言についての調べ学習では、自分の知りたい情報をインタビューや電話などの聞き取り調査や本などのほかに、インターネットで効率よく方言集めをすることができ、子供たちが主体的に取り組むことができると考えた。また、音声データもダウンロードできるので、他地域の方言にさらに親しみをもつことができると思われる。

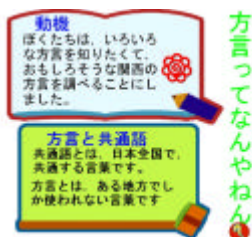
さらに、収集した多くの情報の中から、自分のテーマにあった情報を選んだり、自分なりの考えを交えてまとめていく能力も育てたいと考えた。また、自分たちで調べまとめた内容について、わかりやすく相手に伝えるための表現の能力や、情報手段の効果的な活用能力も身に付けさせるようにしたい。

4 授業実践の概要

時間	主な学習活動・内容	指導上の留意点・教師の支援
1	1 方言と共通語の特徴や違いについて話し合う。	・方言のCD（昔話など）を用意し、方言への興味関心を高めさせるようにする。 ・自分の体験や知っていることなども出させて、方言や共通語についての認識を深めさせる。 ・何となく感じ取っていた言葉の地域性や方言や共通語への思いを、話し合いによって明らかにさせたい。
	2 調べたいこと（何をどのように調	・教科書の発表例から、レイアウト、イラスト

1	べたいか) 調べる方法、まとめ方について計画を立てる。	ト、レタリングなど、構成の仕方について話し合い、情報の発信は、受け手を意識して行うことが必要であることにも気づかせたい。
3	3 自分の立てた計画に基づいて方言について調べる。	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたい内容、調べたい地域を決め、インタビュー、インターネット、手紙、電話、本などを活用して調べる。 ・気に入ったホームページは、お気に入りに保存したり、学級のフォルダに保存したりさせる。
3	4 調べたことやわかったこと、考えことや思ったことなどを整理してまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・集めた資料を取捨選択し、必要なことだけをわかりやすくまとめるようにさせる。
2	5 方言についての発表会を開き、感想を話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ、プロジェクタを使って調べたことを発表させる。 ・方言のよさや温かさ、方言がその地域の人々の暮らしや感情と深く結びついていること、共通語の必要性などにも目を向けさせたい。 ・友達の方言調べのまとめ方についてよいところを認め合うようにさせる。

5 活動の様子や児童の作品



6 児童の感想

- ・いろいろな地方にいろいろな方言があることを知っておどろいた。
- ・何を言っているのか全然わからない方言もあったけれど、おもしろかった。でも、方言だけでは通じないので、やっぱり共通語がないと困ると思った。
- ・自分たちの言葉は共通語だと思っていたけれど、けっこう方言も使っていたことを知ってびっくりした。
- ・親戚の家に電話をして聞いたり、インターネットで調べたりするのが楽しかった。
- ・まとめるときに、いつもは新聞とかだったけれど、コンピュータを使ってみんなにわかりやすいようにまとめるのは大変だったけれど、けっこういいのができて、みんなに拍手をされてうれしかった。